

提案2

# 収納がふんだんにある家

リフォーム 予算 900~1000万円

家族想定 ▶ 30代夫婦+長男(4歳)

プランコンセプト

- 使う頻度や場所を考えて収納を設置
- 壁面やデッドスペースを有効活用
- 収納内部の棚はすべて可動式に

## 大容量のウォークインクロゼット

内部に高さ180cmの天袋をまわし、その下にバーを設置。洋服の丈に合わせて下の空きスペースに衣装ケースを並べ、夫婦の洋服をすべて収納。天袋の角は奥行があるのでスーツケースや客用布団などを置くのに便利

## 帰宅から片付けまでラクラクのパントリー

天井までの壁面収納は、取っ手を引けば幅25cm×奥行45cmのスリムなオープンラックが登場。ストック品を入れておくのに動線の面でも非常に便利

## 子供2人でも対応可能大きめクロゼット

2人目の子供ができてもいいように、幅190cmのクロゼットを設置。その並びには、廊下側から使える掃除用品などの収納を設けた

## 一連の動作をサポートする収納

浴室入口にあるタオルバー、家族全員の下着類まで収納できるリネン庫、化粧品類をたっぷり収納できる三面鏡、その背後にあるバスローブ掛けと、バスタイムの一連の動作を助ける仕様に

## 家族で使えるPCコーナー

PCデスクも作成することでインテリアが統一され、事務的な雰囲気を排してくつろぎの場らしい表情に。両サイドには書籍や書類の収納と飾り棚を設置。パソコンを使わない時はライティングビューローのように2段式の天板を開けてスッキリ空間を演出

## 畳の段差を有効活用 長モノの収納にも便利

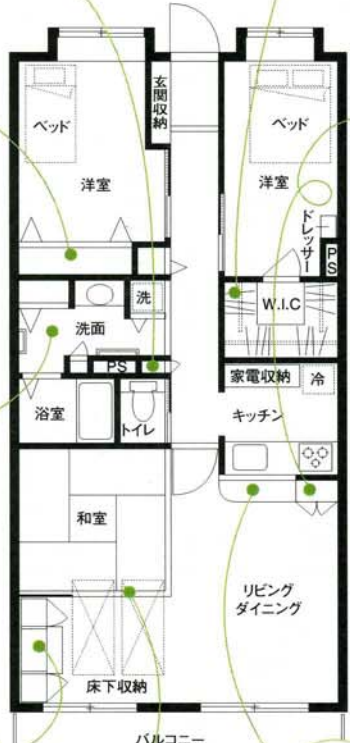
リビングと小上がりの畳スペースとの段差20cmを利用して、畳1畳分の引き出しを2杯内蔵。季節モノやラグなどの長モノはもちろん、引き出し手前を子供のオモチャ入れにするのもオススメ。さらに収納を増やしたい場合は、奥の畳2枚を踏ね上げ式にして、その中も収納にすると良い

## リビングをすっきり見せる“隠す収納”

乱雑になりがちな雑貨類や趣味のものは天井までの壁面収納へ。幅70cm×奥行40cmで新聞もびったり納まる

「と橋さん。収納内部の棚はすべて可動式にして使い勝手も配慮。収納家具がないため飾り棚や観葉植物を置くスペースまで生まれ、インテリアも自由に楽しめそうです。」

収納家具を二重に置かずスッキリ暮らすことを想定したプラン。既存の間取りでは和室の押入れが唯一の大きな収納で、それ以外は幅の狭いクロゼットふたつと廊下の物入れと下駄箱だけ。3人家族なら持ち物が少なくとも各居室に収納用の置き家具が必要でした。それを、持ち物の使用頻度やサイズ、使う場所に合わせて、適所に必要量の収納を配した間取りに。「壁面やデッドスペースを利用したり、引き戸を採用することで、限られた空間を有効活用しました」



PCコーナーはLAN配線も完備し、余計な物が表に出ない住まいに

プラン立案

アレックス  
橋大さん、 山下希さん  
☎0120-77-1488



## 食事時にすぐ手が届く食器収納

料理中に使う家電や食器類はすべてシステムキッチンのバックボードに収納し、カップやグラス、来客用の小皿など、ダイニング側で使いたい食器類は、このカウンター下に収納

記載内容につきましてはすべて確認しました

サイン 07.10.31 5:07:50 PM

●CP(カラーブルー原稿)のご理解のために●  
ご確認いただきたい点: 図面は、印刷物ではございません。実際の仕様に近い形での出力となります。また、カラー指定(データ)の精度、出力のタイミングなどによって見えてくる場合がございますのでご了承ください。